



あの人の
ロハスなストーリーを
聞いてみたい！

第1回 木村正宏さん(有限会社がんこ本舗・代表)

木村正宏さんは、私たちロハス・クリップスでも、最も多くの人たちに使っていただきたいと願っている洗濯洗剤「海へ・・・」や食器用洗剤「森と・・・」を開発された方、がんこ本舗の「きむちんさん」です。

300年単位で思いをつなぐ

僕は、環境を守るための一つのツールとして洗剤を作りました。

さかのぼれば、二十歳前後から環境保全活動に関わってきて、山に登ることを生業にしていたこともありました。そしてヒマラヤから降りて来た。さて何をしようかな、自分に何ができるかなと考えていた時に、四万十川流域の16市町村の役所や、保育所、保健所などで自分の書いた詩を朗読して回ったんですね。突然訪問して、「これから詩の朗読をします。聞ける人だけ聞いてください」なんて言って(笑)。その詩はもう残っていませんが、その時の自分の純粋な思いを当時の若い自分が読み、感動してくれる人がいて、それをきっかけに招かれて詩を読んだり、環境保全・共生型の村おこしの仕事などが始まりました。

個人事務所から、洗剤の開発をした後のがんこ本舗に専念しました。今度は詩を読む必要はないんですね。自分の思いは環境を守るための洗剤という一つのツールを生み出したから。そして、会社という組織にしたほうが、持続可能な状態が選択できると考えましたし、「300年続けること」をイメージできるんですね。300年は当然自分の寿命以上の時間。つまり「自分がどうしたい」ではなく、「つないでいくこと」を目的としてのこと。個人個人の意識であれば揺らぐかもしれない目的意識も、がんこ本舗の目的だよという事で、皆が一つになれる場所を作り、その思いを長生きさせてあげる。それが環境をよくしていくことにつながればいいなと思っています。



左から、木村正宏さん、林、松澤満子さん(箱根のギャラリー・やまぼうしさん)

何十億分の一人というスタンスで生きる

一人だけの力はそれほど価値はないのかもしれない、という思いがあります。例えば、アインシュタインがいなければ相対性理論は生まれていなかったかといえば、たぶん他の誰かによって生まれていたはずだと思います。何かの発見や発明もそうで、同時代性の中で生まれてくるものがあるんです。一人ひとり、もちろん「個」は持っていますが、集団である社会が「個」をさらに飛躍的に伸ばして行く力を持っている。そう考えると、常に自分でなければという意識がなくなり、何十億分の一人として生きる、そのスタンスで力を抜いて、楽に生きることができるようになります。

かっこよく生きる・行動し発信し続ける

何十億分の一人として「美意識」は常に持って生きたいと思っています。洗剤の容器にしても環境を悪くするものは作らない、自分の心に嘘はつかない、など。子ども達には二枚目なイケメンよりもかっこいい生き方を選んでほしいですね。何でいつも元気なの？と聞かれる人になって、人を元気にしていればそれだけで社会貢献。「エコよりニコっ！」です。

僕は、たまたま神様に指名してもらって、この洗剤を作らせてもらったのだと思っています。最初に売り始めたのはフリーマーケット。最初はそんなに売れなかったけれど、よくお弁当の隅っこに入っているしょうゆさしの容器に入れて、挨拶代わりに出店者に配っていたら、翌週、あの洗剤良かったよと言ってくれる人が現れるようになり、口コミや新聞などにも載って広がっていきました。洗剤の開発は今もまだ続いています。本当に自分でも驚くほどいいものに進化しています。

信念にもとづいて何かをしようとした時、これまでやってきたことを一度ゼロに戻して考える、そうすると行動しかなしいし、何が必要かを考えるしかない。これからも環境保全に貢献できる洗剤等を通じ仲間を増やしていくには、行動し発信し続けるしかないと思っています。(続きは13号に)

*ロハス・ストーリーはサイトに掲載予定です(現在準備中)

きむちんさんの生き方は、ひと言で言うと、一人の人として学ぶことがいっぱい。私はきむちんさんの実にシンプルなゆるぎない軸と、それゆえに、しなやかにさまざまな出会いを楽しみ、盛りだくさんに、豊かに生きていくことができている姿に、感動しました。そして、身近なところに素晴らしい先輩がいることにも感謝！です。次号もお楽しみに。(店長・林美栄子)

【ダブルチャリティ・寄付について】 ~ソレココ 私たちにできる小さな一歩~

Lohas-Clipsでお買い物をしていただくと、購入金額の3%がLohas-Clipsのファンドとして積み立てられます。その資金は、困難な状況にある子どもたちを支援する活動や、子どもたち自身が企画する平和や社会貢献活動をサポートしていくことになります。

Lohas-Clipsが扱うソレココ商品は、作っている人も使う人も、みんなが笑顔になるストーリーが詰まっているものばかり。

小さな買い物で、作った人たちの生活が変わる。小さなことだけれど、地球の生命や環境保全につながる。そして購入金額の3%が寄付になる。ソレココは誰もが参加できるみんなの未来をよくする一歩です。「ソレなら ココで 買おう!」と聞いていただけたら幸いです。



ドイツ教育事情 2
放課後活動のいろいろ

今木まゆみ

先月号では、ドイツの小学校の様子を少し紹介して、学科の授業が終わった後、学校内外で様々な習い事をさせる親が増えてきていることをお伝えしました。今回は、もう少し詳しく、午後の子どもたちの活動にスポットを当ててみたいと思います。

さて、放課後の学校内で行われるクラブ活動は、AG(アーゲー・Arbeitsgruppe)と呼ばれ、主に先生や親たちが、ボランティアで自分の得意な技を子どもたちに教えます。息子の大朗が通っていた小学校では、英会話、編み物、木工、コンピューター、写真、ヨガ、サッカー、ホッケー、化学、実験、ダンス、水墨画、書道など、本当にいろいろなアクティビティが提供されていました。デュッセルドルフ市は大きい町なので、クラスの中に、ヨガの先生や、プロのカメラマンのお父さんがいるんですね。それに比べると、ヴォルフスブルク市の学校で提供されているAGの種類は、ちょっと貧弱です。

学校内で提供される活動以外にも、有

料・無料の習い事が沢山あります。学習塾、音楽教室、地区のサッカークラブなどがそのいい例ですが、少し趣の変わったアクティビティを見つけたのでご紹介します。

まず始めは、ノルドライン・ウエストファーレン州フェルバート市にある、自然体験農場 (<http://www.naturerlebnisse.org>)。ここでは毎週月曜の午後3時から5時まで、6歳から12歳までの子どもたちを対象に、“森と自然と動物”をモットーに、近くの森へ行って動物の足跡を探したり、在来木や鳥、鳥の巣箱ならぬ Insekten Hotel(虫のホテル)を作り、そこに巣を作った虫を観察したり、食べられる野生のハーブを採取するなど、自分たちの自然環境を知って、大切にすることを育てます。

次に興味を引いたのはパーテン・ヴルテンブルク州の首都、シュテュットガルト市にある“森の家”(<http://www.hausudeswald.es.de/>)です。ここでは、子どもたちだけを対象にするのではなく、子どもたちに自然の大切さを伝えていく大人、特に、幼稚園や学校の先生などに“森の教師”という資格を授けることによって、より質の高い環境学習

を提供できるようなシステムを作っています。資格を取るには、森林学や動物学のほかに、エコシステム、森やエネルギーの持続可能性に関する授業を受けて、テストに合格しなければなりません。テストに受かったら、森での実習もあります。このようにして、専門知識をつけた先生たちは学校に戻り、より質の高い環境学習を、授業やAGという形で子どもたちに提供します。これも持続可能性の一つかもしれませんね。



<http://www.bmu-kids.de/>:
ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省の子ども向けホームページ

今木まゆみ。仙台市出身。ドイツ在住21年。一男の母。趣味は旅行。オーガニック化粧品が大好き。

Pick up!

循環系商品「もくねんさん」(木の粘土)

桜前線も北上中ですね♪今年の春は、寒暖の差が激しいので、桜を長く楽しめた気がします。

新しい生活にも、そろそろ慣れてきた頃ではないでしょうか。

今号では、老舗「北星鉛筆」が開発した、おがくずを再利用して作られた循環系商品「もくねんさん」(木の粘土)をご紹介します。

子どもにも地球にも優しい!
おがくずをリサイクルした粘土
「もくねんさん」(300g) 315円(税込)

鉛筆製造では、原料となる木材の40%はおがくずとなり、廃棄されていました。それを粘土にリサイクルしたものが「もくねんさん」です。これまでにない新しいタイプの粘土です。



◆乾くと木になる?!

自然乾燥させると、軽くて丈夫な木になり、素焼きのような風合いが楽しめます。

木なので、「切る」「削る」「穴あけ」「ビス止め」「接着」など、いろいろな加工が可能。

◆木の香りのする粘土

原料がおがくずのため、木の香りが漂います。油粘土特有の臭いが苦手なお子さまでも、作業を楽しむことができます。べとべとせず、手や洋服を汚す心配もなし!

◆人体・地球にやさしい粘土

この粘土は燃えるゴミで処分できます。このまま土に埋めても微生物の力で土に還る、地球にやさしい粘土です。体に害のない原材料で、小さなお子さまにも安心して遊んでいただける商品です。

セット内容: ねんど 300g、説明書付き

原材料: おがくず、PVA(ポリビニルアルコール)、水

「もくねんさん手作り鉛筆キット」

315円(税込)

自分だけのオリジナル鉛筆を手づくりすることができます。セット内容で、5本まで作れます。付属の鉛筆の芯をもくねんさんで巻いて作ります。仕上げに「ウッドペイント」(別売)で色をつけると、世界でたった一つのオリジナル鉛筆が完成です。自分で手作りした鉛筆なら、より一層愛着がわくでしょう。



「ウッドペイント7色セット」924円(税込)

おがくずをリサイクルした不思議な絵の具です。(白・赤・黄・青・緑・茶・黒、パレット、筆同梱)

編集後記

風薫る5月。ちょっと肌寒い日が続く今年の連休ですが、1年で一番爽やかでどこに行くにも自転車に乗って出かけたくりますね。

そういえば、朝顔の種を蒔くのもこの時期でした。

今月から、ロハス・ストーリーのインタビューが始まりました。きむちんさんは自然体の生き方と盛りだくさんの話題でいっぱい。皆さんにもお話が聞きたいだけのように講座を企画したいと思っています。(店長・林)

【ロハス・フレンド会員募集中!】

ロハス・クリップスでは、お買い物物がしやすく、様々な特典が受けられる「ロハス・フレンド会員」を募集しています。登録は無料。Webサイトからどうぞ。

【発行】 合同会社チルドレンズ・ビレッジ

〒157-0077 東京都世田谷区鎌田 2-15-19-403 tel:03-6279-0733

<http://www.lohas-clips.com>

「ロハス・Lohas」とは、Lifestyle of Health and Sustainability の頭文字をとった略語で、環境や周囲に配慮し調和しながら、健康的で、無理なく持続できる社会生活を心がける生活スタイルのこと。Lohas-Clips では、さらに、「人や生物とのつながりに感謝し、地域の一員として、社会人として、そして地球に生きる人として、みんなでわかち合いシンプルかつ心豊かに暮らせること」をイメージしています。